



2019年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年3月15日

上場会社名 株式会社 山王 上場取引所 東
 コード番号 3441 URL <http://www.sanno.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 啓治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 浜口 和雄 TEL 045-542-8241
 四半期報告書提出予定日 2019年3月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年7月期第2四半期の連結業績（2018年8月1日～2019年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年7月期第2四半期	3,891	△5.8	△57	—	△98	—	△276	—
2018年7月期第2四半期	4,132	13.5	105	71.1	86	△6.3	73	△53.9

(注) 包括利益 2019年7月期第2四半期 △262百万円 (—%) 2018年7月期第2四半期 170百万円 (△37.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年7月期第2四半期	△59.94	—
2018年7月期第2四半期	15.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年7月期第2四半期	9,772	4,718	48.3	1,022.24
2018年7月期	9,728	4,981	51.2	1,079.12

(参考) 自己資本 2019年7月期第2四半期 4,718百万円 2018年7月期 4,981百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年7月期	—	0.00	—	—	—
2019年7月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年7月期の連結業績予想（2018年8月1日～2019年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	△10.5	△160	—	△210	—	△450	—	△97.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年7月期2Q	5,000,000株	2018年7月期	5,000,000株
② 期末自己株式数	2019年7月期2Q	384,050株	2018年7月期	384,050株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年7月期2Q	4,615,950株	2018年7月期2Q	4,615,950株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 継続企業の前提に関する重要事項等	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済におきましては、米国経済は米中貿易摩擦の影響が顕在化してきているものの、底堅い個人消費を背景に堅調な景気拡大が続いている状況にあります。また欧州経済についても、英国のEU離脱交渉の難航等の政治リスクはあるものの、雇用・所得環境の改善の持続を受け、個人消費・設備投資ともに堅調に推移しております。

一方、米国との貿易摩擦本格化を受け、中国経済では製造業を中心に景気減速懸念が広がりつつあり、先行き不透明感が高まってきております。

わが国経済におきましては、雇用・所得環境の改善を受け、個人消費は堅調に推移していますが、中国経済の変調に起因し、中国向けを中心に輸出が悪化しており、先行き不透明感が高まっております。

当社グループが属する電子工業界におきましては、自動車部品の電子化に伴い車載向け市場での部品需要は拡大しているものの、産業機器分野での生産調整やスマートフォンの減産の影響を受け、産業機器・通信向け市場では受注が低迷しており、総じて厳しい事業環境にありました。

このような状況のもとで当社グループは、成長する市場・製品及び未開拓市場の拡販、品質管理手法の向上、生産能力・生産性強化、海外子会社を含めた一体経営の推進及び新規事業の創出を重点課題に掲げ、その実現に向け取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,891百万円（前年同期比5.8%減）となりました。また、営業損失は57百万円（前年同期は営業利益105百万円）、経常損失は98百万円（前年同期は経常利益86百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は当第2四半期で減損損失を計上したこと等から、276百万円（前年同期は四半期純利益73百万円）となりました。

なお、セグメント毎の経営成績は次のとおりであります。

① 日本

当第2四半期連結累計期間は、産業機器分野での生産調整やスマートフォンの減産の影響により受注が減少したことを受け、経費削減等の収益改善施策を実施いたしましたが、売上高の減少を補うには至りませんでした。

この結果、売上高は2,192百万円（前年同期比20.4%減）、営業損失は299百万円（前年同期は営業利益75百万円）となりました。

② 中国

当第2四半期連結累計期間は、中国での環境規制強化により日本品質への評価が高まっている状況を受け、積極的な営業活動を展開することで前年同期を大幅に上回る売上高を達成することが出来、前年同期に比べ大幅に収益性が改善し、高水準の営業利益を達成いたしました。

この結果、売上高は951百万円（前年同期24.9%増）、営業利益は98百万円（前年同期は営業損失10百万円）となりました。

③ フィリピン

当第2四半期連結累計期間は、車載向け製品を中心に部品需要は堅調に推移しており、前年同期において収益性の悪化要因になっていた歩留り改善活動を行ってきたことにより収益性が大幅に改善し、高水準の営業利益を達成いたしました。

この結果、売上高は750百万円（前年同期比19.9%増）、営業利益は90百万円（前年同期は営業損失10百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が421百万円減少したことものの、現金及び預金が527百万円増加したこと等から、前連結会計年度末と比べ44百万円増加し9,772百万円となりました（前連結会計年度末は9,728百万円）。

負債は、短期借入金が372百万円減少したものの、長期借入金が716百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比べ306百万円増加し、5,053百万円となりました（前連結会計年度末は4,747百万円）。

また、純資産は利益剰余金が276百万円減少したこと等から、前連結会計年度末と比べ262百万円減少し、4,718百万円となりました（前連結会計年度末は4,981百万円）。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等について

当第2四半期連結累計期間においては、通信・産業機器分野での生産調整に伴い、経営環境が厳しさを増しており、国内では前連結会計年度に比べ営業赤字が拡大していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

しかしながら、当社グループは、新製品受注に向けて東北工場に新ラインを建設することに加え、一層の生産性向上・合理化による収益力向上を図るため鈴川工場の生産機能を東北工場に統合するとともに、プレス・めっき一貫生産の強化のため、プレス生産を東北工場に集約する生産拠点の再編を決定しており、今後上記施策を着実に実行していくことで、当該事象又は状況を解消できると考えております。

また、当社グループは、今後必要な資金について、取引金融機関から支援を引き続き得られる見通しであり資金面で問題ないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しており、継続企業の前提に関する注記を記載しておりません。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年3月15日開示の「2019年7月期第2四半期連結業績予想数値と実績値との差異、通期業績予想の修正、生産拠点の統合及び特別損失の発生に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,838,600	3,366,408
受取手形及び売掛金	2,365,365	1,944,268
製品	116,209	140,182
原材料及び貯蔵品	1,299,966	1,341,034
その他	203,279	205,181
貸倒引当金	△250	△250
流動資産合計	6,823,171	6,996,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	143,049	140,997
機械装置及び運搬具(純額)	404,798	362,474
土地	1,289,972	1,226,410
リース資産(純額)	180,071	144,042
建設仮勘定	30,432	119,360
その他(純額)	161,935	154,074
有形固定資産合計	2,210,259	2,147,359
無形固定資産	24,588	25,628
投資その他の資産		
投資有価証券	516,292	442,859
その他	155,080	161,091
貸倒引当金	△1,184	△1,184
投資その他の資産合計	670,188	602,765
固定資産合計	2,905,035	2,775,754
資産合計	9,728,207	9,772,579

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	335,065	291,919
短期借入金	1,516,510	1,143,656
1年内返済予定の長期借入金	374,008	544,453
リース債務	63,404	41,256
未払法人税等	22,284	21,044
その他	576,465	481,371
流動負債合計	2,887,740	2,523,701
固定負債		
長期借入金	1,258,380	1,974,659
リース債務	180,321	160,052
退職給付に係る負債	213,962	209,183
繰延税金負債	71,376	51,615
その他	135,238	134,758
固定負債合計	1,859,280	2,530,269
負債合計	4,747,020	5,053,970
純資産の部		
株主資本		
資本金	962,200	962,200
資本剰余金	870,620	870,620
利益剰余金	2,578,604	2,301,939
自己株式	△125,103	△125,103
株主資本合計	4,286,320	4,009,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176,137	114,701
為替換算調整勘定	514,830	590,389
退職給付に係る調整累計額	3,897	3,863
その他の包括利益累計額合計	694,866	708,953
純資産合計	4,981,186	4,718,609
負債純資産合計	9,728,207	9,772,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2018年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)
売上高	4,132,603	3,891,699
売上原価	3,307,734	3,228,957
売上総利益	824,869	662,741
販売費及び一般管理費	719,675	720,202
営業利益又は営業損失(△)	105,194	△57,460
営業外収益		
受取利息	6,755	7,633
その他	16,951	13,456
営業外収益合計	23,707	21,090
営業外費用		
支払利息	18,798	23,620
為替差損	-	20,719
その他	23,128	17,913
営業外費用合計	41,926	62,254
経常利益又は経常損失(△)	86,974	△98,624
特別損失		
固定資産売却損	-	611
固定資産除却損	-	12,267
減損損失	-	145,444
特別損失合計	-	158,323
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	86,974	△256,948
法人税、住民税及び事業税	14,203	20,337
法人税等調整額	△902	△620
法人税等合計	13,301	19,716
四半期純利益又は四半期純損失(△)	73,673	△276,665
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	73,673	△276,665

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2018年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	73,673	△276,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61,009	△61,436
為替換算調整勘定	35,316	75,558
退職給付に係る調整額	33	△34
その他の包括利益合計	96,359	14,087
四半期包括利益	170,032	△262,577
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170,032	△262,577

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年8月1日 至 2018年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	86,974	△256,948
減価償却費	108,680	134,061
固定資産除却損	-	12,267
減損損失	-	145,444
受取利息及び受取配当金	△9,309	△7,633
支払利息	18,798	23,620
為替差損益(△は益)	△4,102	6,949
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8,200	△5,151
売上債権の増減額(△は増加)	△269,193	416,561
たな卸資産の増減額(△は増加)	△45,701	△61,248
仕入債務の増減額(△は減少)	22,225	△23,539
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,961	△35,410
未払費用の増減額(△は減少)	△10,837	△21,465
その他	△28,048	△26,739
小計	△122,751	300,768
利息及び配当金の受取額	9,225	7,633
利息の支払額	△18,798	△23,620
法人税等の支払額	△15,766	△19,958
営業活動によるキャッシュ・フロー	△148,090	264,823
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△164,459	△65,672
定期預金の払戻による収入	198,415	49,034
有形固定資産の取得による支出	△219,688	△225,551
無形固定資産の取得による支出	△1,461	△3,373
投資有価証券の取得による支出	△8,226	△7,552
その他	1,349	△6,701
投資活動によるキャッシュ・フロー	△194,071	△259,816
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	△369,300
長期借入れによる収入	586,000	1,105,000
長期借入金の返済による支出	△239,155	△208,095
リース債務の返済による支出	△42,986	△42,417
セール・アンド・リースバックによる収入	92,511	-
その他	△18,800	△11,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	177,568	473,887
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,620	35,290
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△157,972	514,183
現金及び現金同等物の期首残高	2,347,879	2,625,005
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,189,907	3,139,188

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に計上しております。